

## 2025~26年度 RI第2650地区

創立 昭和36年6月28日

承認 昭和36年8月 3日

# 勝山ロータリークラブ週報

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30

例会場 勝山市市民交流センター

〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地

TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760

URL : <https://rid2650.gr.jp/club-katsuyama>

Email:katsuyamarc@gmail.com

■会長 滝川博則 ■幹事 辻利津子

編集発行・文責 公共イメージ委員会

### 会長メッセージ

～縁（えにし）を継なぐ～



## 第3095回 例会 (10月7日)

### ●会長スピーチ

会長 滝川 博則

9月27日から10月3日までの間、アメリカに行ってまいりました。現地時間では9月27日から10月2日までの滞在です。

初日はシアトルで野球観戦を予定しておりましたが、残念ながら大谷選手は欠場でした。

翌28日にはモンタナ州ボーズマンに入りました。

空港ロビーではボーズマンサンライズロータリークラブの会員の皆さまから熱烈な歓迎を受け、各自がホームステイ先へと向かいました。

29日朝、ロッキー博物館ではウェルカムセレモニーが行われ、福井県立恐竜博物館よりお預かりした品をお渡しすることができました。



夜には歓迎パーティが開かれ、その席上において、両ロータリークラブの姉妹提携の調印がなされました。

姉妹提携後は皆様といろんな可能性を考え、年当初から申しあげている「勝山のためになる事業」に辿りつけたらと思っております。

今回の訪問の詳細につきましては、まだまだ話したい事多々ありますが、11月の例会にて改めてご報告させていただきます。

最後に一つ残念なお知らせですが、富士根会員より一身上の都合により退会届が提出され、受理いたしました。

これまでのご貢献に心より感謝申し上げます。

### ●幹事報告

幹事 辻 利津子

○10月24日は世界ポリオデーです。

○今月は米山月間です。次週は米山奨学生の卓話の予定です。寄付への協力をお願いします。

○LINEグループを作成します。ご参加ください。

○11月16日 市民活動ネットワークまつりが開催されます。ご協力をお願いします。

### ●委員会報告

●SAA

服装について

しばらく暖かい日が続く見込みですので、各自で服装の調整をお願いします。

織田 昌弘

### ●出席報告

山内 智子

10月7日 欠席名 68. 18%

9月16日 欠席1名 95. 65%

### ●ニコニコ報告

笠松 誠一

渕上勝夫・和田耕三

無事交流事業を終えました、今月もよろしくお願ひします。

無事に帰国されたことに感謝

滝川博則

辻利津子



本日 プログラム	ゲスト卓話 米山奨学生	10月21日 プログラム	ゲスト卓話 理科研究発表	10月28日 プログラム	ゲスト卓話 竹田式体操	11月4日 プログラム	ボーズマサライRC 訪問報告会
-------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------	----------------	----------------	--------------------

## 会員卓話

## 人生100年の過ごし方

福田 浩二 会員



ボーズマンサンライズRCとの交流事業でアメリカへ行ってこられた皆さん、本当にお疲れさまでした。これから、向こうでのエピソードを沢山お伺いしたいと思います。さて、上山委員長から、「人生100年の過ごし方」というタイトルで卓話を依頼されましたが、正直、今を精一杯生きておりますので、なかなか真剣に考えることも出来ないのが現状ですが、「こんなことをやってみたいなあ」「こんな暮らしがしてみたいなあ」と、思ったことを少しお話したいと思います。

よく、「老後資金はいくら必要か」何て言うテーマで、報道や雑誌などの特集が組まれておりますが、

- ・生命保険文化センターの調査によると、

最低日常生活費 月額 23.2 万円

ゆとりの為の上乗せ額 月額 14.8 万円

ゆとりある老後生活費 月額 37.9 万円

が必要とされています。ここでいう「生活費」とは、食料費、住居費、光熱費、医療費、保険料などが主な項目となります。健康寿命を過ぎると、医療費や介護費用などの「保険医療」の支出が増加し、生活費の負担が増えてきます。

・総務省の家計調査による高齢期の消費支出を見ると、

単身世帯 1ヶ月平均 約 18.4 万円

2人以上世帯 1ヶ月平均 約 32.5 万円

となっており、公的年金収入だけでは不足する可能性が高いため、不足分を補う方法、つまり預貯金・資産運用・退職金・定年後も働くことを検討しなくてはなりません。

・厚生労働省が発表している2025年度の夫婦2人分の標準的な年金月額は、厚生年金に加入している場合、232,784円です。ただし、妻と夫の働き方によって、もらえる年金額は変わります。

私だけでなく、誰しもが思う理想の老後とは、先ずは健康でいられること、そして家族が幸せで過ごされること、だと思います。そのうえで、生き甲斐がもてる事、それが「働く場所がある」ことだったり、「趣味がもてる」ことだったりするのではないか。私自身も、仏壇やお墓で手を合わせるときは、必ず「母の健康と、兄弟の家族の幸せを見守ってください」と祈ります。そのうえで、自分の好きなこと(温泉巡りであったり、お城や神社仏閣を巡ること、欲を出せば、海外の世界遺産巡り)ができれば、言ふことはありません。でも、今申し上げた、自分の好きなことって、もの凄くお金がかかります。

例えば、温泉巡りですが、環境省がまとめた「温泉利用状況」によると、2023年度の宿泊施設のある温泉地は、全国に2857ヶ所もあるそうです。

あくまで、仮説ではありますが、この温泉地に必ず1泊して歩くと、一体何年かかるのか、そして費用はどれくらいかかるのか、ざっくり計算してみました。

温泉地は毎年20ヶ所前後減少しておりますが、現状維持でこのまま推移するとして、単純計算で5,714日かかります。つまり、15年と8ヶ月かかります。

そして、費用は宿泊費を含めた旅費を平均10万円とした場合、2億8570万円、半額の5万円にしても、

1億4285万円かかります。とてつもない日数と費用がかかる訳です。私が描く「趣味に生きる老後」には、この全国温泉地巡りは断念せざるを得ません。しかし、これも工夫して、日帰りであちこち回りながら制覇することは可能かも分かりません。仕事は恐らくまだ当分続けなければなりませんので、この間じっくり構想を練りたいと思います。

先日、日経新聞に豪華客船「飛鳥」で行く46日間の旅の案内が掲載されていました。横浜から、ハワイ、アメリカ・カナダの西海岸、そしてアラスカを回る旅ですが、費用は334万円～1,630万円と部屋によって格差があり過ぎますが、早期予約であれば25%も割引されるそうです。年末年始を船で過ごすプランも掲載されていました。台湾クルーズ10日間で76万円～360万円、グアム・サイパンクルーズ10日間で114万円～554万円だそうです。一体どんな方が行かれのでしょうか、そちらの方に興味が湧きます。この豪華客船の旅、世界的に見れば急成長を続けているようで、2024年は世界全体で約3,500万人、2027年には4,000万人に達するものと見込まれているそうです。一方、日本国内では、約22万人、コロナ前には35万人が利用していたそうで、今は回復傾向にあるそうです。クルーズ旅行は一度経験すると次の乗船意欲が高くなる傾向があるそうで、リピーターが多いそうです。私の知り合いのご夫婦が、経営する工場に泊まり込みで長年働いてられ、お子さんが学校を卒業した頃から、よく海外旅行に行かれていたことを思い出しましたが、その時、旅行で知り合いが増え、お互いが次の旅行に誘い合っていた話を聞いたことがあります。リピーターが大勢いることにもうなづけます。

温泉旅行にしても、海外旅行にしても、先立つものが必要です。私は10年位前までは、ジャンボ宝くじを毎回購入しておりました。豪邸を建てたいとかいうものではなく、ただ「お金をもつことで心に余裕を持ちたい」みたいな感じでしょうか。購入し始めたころは、大金を手にしたいという夢がありました。これを続けておりますと、だんだん現実的になり、億単位ではなく数千万円、それがいつしか100万円くらいにまで夢が縮み、仕舞には宝くじを買うことすら止めてしまいました。(身近な人に高額当選者がいるかも知れないのに、、、です。)

7年ほど前でしょうか、私が書店で見つけた本に、「宝くじで1億円当たった人の末路」というタイトルで、もう累計で15万部以上売れた本があります。

宝くじで夢を見なくなったのも、この本のせいかも分かりませんが、この内容を一部、皆さんにご紹介したいと思います。この中に、宝くじ愛好家の方がおられたなら、あくまでも考え方の一つとして、聞き流して頂きたいと思います。

宝くじで一攫千金を目指すよりも、地道に稼いできたお金を大切に使っていく、それが私には最適な人生100年の過ごし方なのではないのかなあ、と思っております。人とのつながりを大事にして、時々美味しいものを食べたり、旅行したりする、そんな暮らしが続けられるよう、体をもっと鍛えていきたいと思います。